

明石市立大蔵中学校だより「2021年12月24日(第144号)」

書あり 師あり 友ありて

今年1年の答え合わせ

学校長 平田 高之



本年も残すところ後わずかととなり、本日終業式を迎えることとなりました。

2学期も新型コロナウイルス感染症対応の中での教育活動ということで、無観客の体育大会、保護者の皆様は1名制限で学級入替制の文化発表会、1泊2日のバスによる京都への修学旅行等、学校行事もさまざまな制限下での実施となりました。しかし、短く制限のある中で取り組んだ2大行事では素晴らしい成果を、修学旅行及び2年ぶりに完全な形で実施できたトライやる・ウィークにおいても事業所や訪問先で、大蔵中生の挨拶、礼儀正しきや振る舞いに対して大変高い評価を頂きました。生徒の皆さんの努力、保護者の皆さんのご協力、関係者や地域の皆様の支えがあったのおかげだと改めて感謝申し上げます。

部活動については、緊急事態宣言中は練習制限等がありましたが、総合大会・コンクールが無事に開催され、県または近畿総体へ陸上部・剣道部・女子ハンドボール部が出場する等、力を発揮してくれました。さらに、陸上部2名がジュニアオリンピックに出場し円盤投げでは4位入賞(中学生では1位)、残念ながら大会は中止となったのですが、男子剣道部主将が「全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会」の兵庫県代表チーム主将に選ばれるという嬉しいニュースもありました。

ただ、感染状況が収まったと思ったところにオミクロン株による感染再拡大の不安等、引き続き気持ちが減入るニュースが多い中で、生徒たちはストレスを多く抱えながら中学校生活を送り続けています。どうしても気持ちを開放できる場面が少なく、**「学力学習状況調査結果」**にありましたが、家の中で、ゲーム、動画視聴やSNS等に費やす時間が増え学校生活に支障をきたす、友達・教職員とのコミュニケーションの場面が減り、人間関係のトラブルや悩みを自分一人で抱えてしまうケース等も見られました。この冬休みの間に、家庭内でコミュニケーションを図って頂けると幸いです。その際にお子様のことで気になること等がありましたら、学級担任、部活動顧問や1月の教育相談でSCに相談する等して頂きたいと思っております。

3年前の着任以降、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、校長の学校運営方針、本校の教育活動・内容の状況について、ホームページの充実・すぐメールの活用等により、できるだけ**「早く」「多く」「正確に」**情報発信をしてきたつもりです。本年も多くの保護者の皆様にアクセスして頂きました。

しかしながら、「学校だより」やホームページでお示した学校長の方針や学校の考え方が全教職員に十分浸透できていないことから、学校からの連絡の遅れや対応等でご迷惑をおかけしたケースもありました。年末の風物詩、清水寺で披露される**「今年の漢字」**は**「金」**でしたが、私は、昨年末の「学校だより」で**「応」**の字を挙げ、本年もその気持ちで取り組んでまいりましたが、対応が不十分だにご指摘頂いたご意見を真摯に受け止めなければいけないと考えております。

学校から一方通行にならないよう、先日お願いしました「学校評価アンケート」も参考にさせて頂き、今後も保護者の皆様とは双方向の関係を築いていきたいと考えております。忌憚のないご意見を、いつでも校長にご連絡を頂けたらと思います。

令和3年度は残すところ3か月少となりました。令和4年も、教職員が**「チーム大蔵」**として**「ONE TEAM」**となり、全力で取り組んでまいります。引き続き本校教育へご理解ご協力頂きますことをお願いするとともに、生徒はもとより保護者の皆様も、良い年末年始を迎えられますことを心より祈念しております。

2学期も本当にありがとうございました m(_ _)m

文化発表会映像配信のお知らせ

長らくお待たせしておりましたが文化発表会の映像について、著作権使用料を市教育委員会が市内全小中学生分を負担してくれ、課題が解決しましたので、ホームページの**「大蔵中生へのエール」**に本日よりアップいたします。個人情報保護の関係からパスワードが必要となりますので**「〇〇〇〇」**を入力して下さい。なお、配信します映像や音声等について、一切の録画録音撮影等は固くお断りいたします。また、本校生徒・保護者以外の第三者に配信されますと、生徒の個人情報を侵害する恐れがあります。今後映像配信ができなくなりますので決してなさないで下さい。

県新人大会女子バスケットボール部試合結果

ホームページの「最近の行事」でお知らせしていましたが、女子ハンドボール部が6年連続で出場を果たした県新人大会で、淡路の津名中学校と対戦しました。

序盤から点の取り合いとなるレベルの高い試合でした。スタートからシュートが決まり第1Qはリードしたのですが、第2Qで逆転され、前半は19対24で終わりました。

しかし、第3Qで追い上げ30対33となり勝負の第4Qへ。さらに試合展開は激しくなり、残り3分で35対36と1点差まで迫りましたが、僅かのところで38対40と再びリードされました。土壇場で40対40に迫につき、さらにフリースローのチャンスがありましたが決めきれず、3分間の延長戦にもつれ込みました。

延長戦は41対40でスタートしましたが、42対44と逆転されました。44対44と追いつくも、再び44対47とリードされました。3ポイントシュートで同点を狙うも決まらず惜しくもそのままの点数で敗れました。しかし、最後まで諦めない気持ちで粘り強く頑張ってくれた素晴らしい試合でした。

新チームになり、市内大会、東播大会、そして県大会と確実にレベルが上がってきています。来年の総体に向けてさらに底力をつけ、「逆転の大蔵」として県総体に出場してのリベンジを期待しています。Fight on Ohkura SHARKS!

